

朝晩はかなり涼しくなってきました。こんな季節の変わり目は体調を崩しやすいものですが風邪などはひかれていませんか？

有限会社美栗陸送 代表取締役 栗本佳孝

発展途上の国へ視察に行ってきました。



(市内の様子)



(現地の小学校)



(隣国から輸入される新車)

今回視察に訪れた国名は伏せさせていただきますが、私が以前からビジネスチャンスがありそうな気がして色々調べていた国です。

この国に行った事がある人から色々聞いたりと、ネットで調べたりしていましたが、中古車乗用車の輸入は禁止されている国なの分かりました。

自動車ビジネスのチャンスはないのかと自分なりに調べ、輸入規制が解除されるタイミングまでに現地とのパイプ作りを考えていました。

しかし、チャンスは突然やってきました。

現地で金融関係の仕事をしている日本人の方が、担保で抑えたクルマを販売するのにクルマに詳しい人を捜していると言う話が来て、その方を紹介していただき今回の現地視察となりました。

中古車は輸入禁止ですが新車は100%輸入されていて、現在は富裕層しかクルマを持っていませんが昭和30年代の日本のように今後クルマの所有が拡大しそうです。新車は関税100%かかりとても高価で一般の人では新車に乗る事は出来ませんが、中古車なら乗れる日も近いのではないのでしょうか。

現在は個人売買が主流で、現状渡しでの販売をしています。日本のようにアフターサービスが付いている販売方法が今後は求められる事を実感して帰国しました。今後は、現地スタッフが市場調査を行いそれに基づき来年には出店できればとおもっています。

チャンスはいつどこからやってくるか分からないものです。



(ご利益ありそうな石像)

今月のお勧め本紹介

斉藤一人著

「絶対成功する千回の法則」

日本で有数の高額納税者、斉藤一人さんの本ですが

こんな簡単な事でせいこうできるのか？と思うような話です。

簡単な事だけど多くの人はやらないから一部のしか成功者になれないのでしょうか。



お客様の立場で考え行動する 有限会社美栗陸送

岐阜県岐阜市細畑1-8-7 TEL: 058-213-6445 FAX: 058-213-6446

夕暮れ時と夜間の事故防止について

だいぶ涼しくなって日が暮れるのが早くなりました。視界が悪くなり事故も多発します。

相手を見落としたために事故になったというケースは少なくありません。これは立場を変えてみれば、見落とされることがいかに危険であるかを示しているともいえます。事故に遭わないようにするためには、相手に見落とされないよう自車を積極的に「見せる」ということが重要なポイントになります。そこで今回は、「見せる」ということについて考えてみましょう。

★灯火類を活用して「見せる」

- ▶ ヘッドライト点灯で自車を目立たせる
- ▶ ポンピングブレーキで停止を気づかせる
- ▶ 合図で自車の次の行動を予告する



★車間距離をとって「見せる」

大型車の後方を走行するとき、車間距離を十分に確保していても、大型車の死角に入ると、対向車から自車が見えない状態になります。特に、交差点に接近する場合において車間距離をとっていないと、大型車の死角に入って対向右折車から見えないため、大型車の後ろに車はいないと判断して大型車通過直後に右折してくる危険性があります。ちゃんと車間距離をとってれば、対向右折車から自車が見えますから、大型車の通過直後に右折してくる危険性は低くなります。車間距離を十分にとるということは、追突事故を防止するだけでなく、相手に自車を見せ、気づかせるうえでも重要なことです。

見通しの悪い交差点での出会い頭事故を防止するためには、確実に一時停止をして左右の安全確認を行うことが基本ですが、それとともに相手に自車を見せて自車の接近を知らせることも重要なポイントになります。

そのためには、まず一時停止線で確実に停止してから、徐々に進行して車の先端部分が少し交差道路に出た時点で停止します。これは相手に自車の存在を見せ、気づかせることが目的であり、交差道路にはみ出し過ぎると道路の端を進行してくる自転車やバイク、歩行者と衝突する危険がありますから、ほんの少し「見せる」程度にします。そうして徐々に進行して左右の安全確認を行います。

夜間の見通しの悪い交差点で、自車の道路側に一時停止が義務づけられていない場合に、交差点の手前でヘッドライトの上下を切り替えることによって、交差道路側の相手に自車の接近を知らせ、注意を促す方法があります。ただし、その場合でも交差点通過時は、徐行して左右の安全確認をしっかりと行いましょう。

(犬塚芳彰)

PC便利な使い方

Windows をシャットダウンする場合、通常は [スタート]メニューを開いて[終了オプション]を選び、[電源を切る]を選んで終了するという手順になる。終了するまで3つの手順を行うが、急いでいる時などはこの何段階もの手順を操作して終了するのは、わずらわしく感じませんか？[スタート]メニューからたどって終了するのは面倒なので、ダイレクトに終了できるボタンでもあったらいいのに……と思いませんか？

こんなときに役立つのが、デスクトップに作成できるシャットダウン用のショートカットアイコンです。アイコンをダブルクリックするだけでダイレクトに終了できる。今回は、一発でシャットダウンできるショートカットアイコンの作成方法を紹介しましょう。

Windows のシャットダウンを行うには、シャットダウン用のショートカットアイコンから終了させる方法がある。ショートカットはデスクトップに配置したり、タスクバーの[クイック起動]に登録したりしておけば、いちいち[スタート]メニューを開いてシャットダウンの操作を実行しなくても、簡単手軽にシャットダウンできます。

シャットダウン用のショートカットアイコンを作成する手順

デスクトップ上の何も無いところで右クリックし、[新規作成]→[ショートカット]を選択する。[項目の場所を入力してください]の枠に、「shutdown -s -f -t 0」と入力し、[次へ]ボタンをクリックする。

[このショートカットの名前を入力してください]の枠に自分で分かりやすい名前を入力する。ここでは「終了」と入力し、[完了]ボタンをクリックする。デスクトップに「終了」という名のショートカットアイコンが作成される。ダブルクリックして実行すると Windows のシャットダウンが開始される

2番目の手順で入力した「shutdown -s -f -t 0」の「0」の値は、シャットダウンするまでの秒数の値となっている。例えば15秒後にシャットダウンするようにしたい場合は、「shutdown -s -f -t 15」と入力してショートカットアイコンを作成すると、実行して15秒後にシャットダウンするようになる。

●再起動

shutdown -r -f -t 0

●ログオフ

shutdown -l -f

(中原 毅)